

## 府大教ニュース

・ 2015年度定期大会報告

2015.9.8

発行

No. 734

## 府大教情宣部発行

堺市中区学園町1-1

大阪府立大学内

TEL/FAX 072(257)8992 (直通)

072(252)1161 (内線2751)

e-mail: fudaikyouto@eto.eonet.ne.jp

http://www.eonet.ne.jp/~fudaikyouto/

# 2015 年度府大教定期大会 活動方針など7議案を可決

8月27日(木)、B3棟(教育棟)117教室において、2015年度府大教定期大会が開催されました。大会は小嶋副委員長の開会宣言に続き、りんくう会場での大会参加の承認の後、議長に高根代議員を選出し、引き続き大会役員を選出と承認、書記(議事録署名委員)の任命が行われ始まりました。

はじめに2014年度河野委員長の挨拶が、次いで山田書記長より2014年度活動報告(第1号議案)が行われました。

勤務労働条件改善の取り組みとして、2014年10月の府人事委員会勧告を受け、法人に給与改定要求書を提出し、法人はほぼこれを認めた事が報告されました。特例減額については2015年3月で終了することになりました。しかしながら国の「公務員給与の総合的見直し」による2%の引き下げに大阪府が追随し、法人もやむなしとして4月1日から同様の引き下げとなりました。これについては、今秋の人事委員会により修正勧告があると思われ、今後の闘争の中で回復していきたいことが報告されました。

学年暦の見直しについては、法人からの「祝日の開講に」に対する案を慎重に検討した結果、2015年度からの前期・後期とも各2日程度を了承し、法人に対して労働基準法の遵守と学内保育の整備、代休取得の手続きを適切に行うこと等を要望しました。また検収制度の見直しについて、法人から検収センターを置き、全品検収とする計画が示されました。新たに人員の配置はないとのことですので、教職員の業務がこれ以上増加しないよう注視していきます。

民主的な大学運営に対する取り組みでは、法人は中期計画に従い教職員の数をさらに削減するとしていますが、すでに限界との声が多くあがっています。府大教は法人に、教職員の必要数の配置や運営費交付金増額を大阪府に要求するよう繰り返し要求していることが報告されました。

組合員へのアンケート調査によると、大阪市立大学との統合については情報不足・大学の本音が見えないといった意見が多く、判断がつかない状況です。教職員の業務については忙しい・休日振替が取得しにくいといったさまざまな声があることが報告され、これらの課題を改善していきたいとしました。

第2号議案として岸田財務部長から「2014年度一般会計、特別会計」の決算報告、西村会計監査委員から会計監査報告が行われ、山田書記長から第3号議案(労働協約締結・改定の承認に関する件)が提案されました。続いて採決が行われ、第1号議案、第2号議案は可決(反対0、保留0、賛成54)されました。また、第3号議案が賛成多数で可決されました。

大会写真

## 2015 年度定期大会役員

大会議長	議事運営委員会	資格審査委員会
高根代議員	委員長 金子代議員	委員長 仲村代議員
<b>書記(議事録署名委員)</b>	委員 岡田、望月執行委員	委員 谷口、加藤、油谷執行委員
武藤代議員	委員 井澤代議員(りんくう)	委員 高野代議員(りんくう)

引き続き、2015 年度河野委員長から新執行部体制の紹介が行われました。山田書記長からは、第 4 号議案(2015 年度活動方針案)、第 5 号議案(選挙規程改定)、第 6 号議案(組合費改定)、岸田財務部長から第 7 号議案(2015 年度予算案) が提案されました。

2015 年度活動方針は、教職員の労働条件の改善について、公民格差の回復だけでなく、本来の給与水準はどうあるべきかという議論に立ち返って職域毎に再構築していかなければならないこと、人事評価については公平・公正な誰もが納得できる結果が反映される事が望ましく、それに向けて努力していくことが述べられました。教員については裁量労働制導入におけるみなし労働時間、キャリアパスの問題と、自己研修室の活用など福利厚生の実等の実現等の課題に取り組んでいきたいことが報告されました。

選挙規程改正では、学域制の導入にともない職場の増加見直しや教職員の業務負担増を考慮し、中央執行副委員長の数を 6 名以内とする案が説明・提案されました。

その後、第 4 号議案、第 5 号議案、第 6 号議案、第 7 号議案の採決が行われ可決(反対 0、保留 0、賛成 57)されました。最後に、金田書記次長から「大会決議案」の提案が行われ大きな拍手で承認され、閉会宣言とともに大会は終了しました。

## 大会決議

大阪府立大学とそこに働く私たち教職員は、今、大学の存亡に関わる大きな危機に直面しています。設立団体の強引な教職員削減によって、業務量は過重になり、大学の教育・研究機能はますます衰退してきています。橋下大阪維新の会が押し進めてきた「大阪都構想」が否決され、府市統合の象徴の一つとして学内討論がないままに進められてきた大学統合は、先行きが不透明になっています。

安倍政権は「不戦を貫く平和国家」から「地球のどこでも戦争できる国」へと日本を変え、憲法を無力化するための法整備を進めています。また、大学教育に介入し、学長権限の強化や目先の国益を求める理系の偏重、軍事関連研究推進など、憲法に保障された「大学の自治」と「学問の自由」を蹂躪し、大学の教育と研究を歪めようとしています。大企業優先の経済政策アベノミクスは、貧富の格差と物価上昇をもたらしただけで私たちの生活は破綻に向かい、非正規雇用を含め私たちの勤務労働条件はますます厳しくなっています。

府大教は、自主自律の精神にあふれる府立大学の将来を切り拓くために、すべての教職員の叡智を結集した民主的な真の大学改革を目指して運動を進めていきます。

府大教は、労働運動の長い歴史の中で労働者自らが勝ち得た団結する権利を尊び、すべての教職員の団結の下、教育研究環境と勤務労働条件の改善に向けて力強く前進していくことを決議します。

「大阪府立大学の民主的な将来を切り拓き、働く条件を改善するために組合加入を！」をスローガンに、共に頑張りましょう。

2015年8月27日

大阪府大学教職員組合2015年度定期大会